

新入生合宿研修を終えて

小児歯科・障がい者歯科・助教 村上 智哉

平成30年4月7日（土）、8日（日）の2日間、新潟市西区赤塚のメイワサンピアにて新潟大学歯学部新入生合宿研修が開催されました。本研修の対象は、歯学科・口腔生命福祉学科の新入生およ

び3年次編入生を対象として行われているもので、本年度は歯学科39名（2年次編入生5名含む）、口腔生命福祉学科20名（3年次編入生3名）の計59名の新入生が参加しました。

【日程】

4月7日（土）		4月8日（日）	
8:10	歯学部出発	6:30	起床
9:00	会場到着・写真撮影	7:00	朝食
9:35	全体ガイダンスⅠ	7:45	学生によるガイダンス
10:10	PROGテスト	8:15	全体ガイダンスⅡ
12:00	グループ作業	9:00	BLS講習会
12:30	昼食	11:30	閉会式
13:20	アイスブレーキング	11:45	メイワサンピア発
14:30	自己研鑽セミナー	12:15	歯学部着・解散
17:30	入浴・自由時間		
18:15	夕食		
20:00	教員との懇談		
22:00	就寝		

4月7日（土）

生憎の雨となってしまいましたが、メイワサンピアに到着してすぐに集合写真を撮影するため玄関前に集合しました（写真1）。その後、セミナー室に移動して全体ガイダンスⅠを行いました。まず、前田歯学部長にごあいさつ頂き、次いで参加教職員の自己紹介などを行いました。

次に、PROGテストというペーパー試験を行いました。PROGテストは、専攻・専門に関わらず、社会で求められる汎用的な能力・態度・思考を測定・育成するものです。皆さん真剣な表情で筆記試験を受けていました。その後、自己紹介などの簡単なグループ作業で午前の部は終了となりました。

午後はアイスブレーキングからスタートしました。今年度の司会進行は生体歯科補綴学分野の秋葉奈美先生が担当してくださいました。「砂漠で遭難したらどうするか」と題したコンセンサス

ゲームが行われました。どのグループもみんなが意見を出し合い、グループとして1つの回答を作り上げることができていました（写真2）。続いて行われた自己研鑽セミナーは、歯周科の小松先生が担当してくださいました。簡単に内容を説明するとK-J法（挙げられた項目全てを同列に列挙し、図解等にまとめる方法）を用いて質問に対する答えのグループ分けをしました。「どんな医療人になりたいか」、「それを実現するために学ばべきこと。」についてグループで意見を出し合い、まとめていきました（写真3）。最後にグループ発表を行いました。納得のいくプレゼンができたグループもあれば、時間がなく悔しがっているグループもいましたが、どのグループもとてもいい経験になったのではないかと思います。

自己研鑽セミナーが終わると新入生達は自由時間となり、大浴場でゆっくりしたり、部屋で話を

したりしていたようです。午前のアイスブレイキングや自己研鑽セミナーの効果で、夕食では、教員の先生達と打ち解けて話しができたようです(写真4、5)。夕食後は、教員も含めての懇談を行いました。これからの大学生活などについて、教員の先生や学生アシスタントからアドバイスももらったりと有意義な時間が過ごせたようです。

4月8日(日)

2日目の学生ガイダンスでは、クラス幹事選出などが行われました。次に行われた全体ガイダンスⅡでは、学生支援・セクハラ相談についてのお話や、学務委員長、臨床実習実施委員会委員長よりこれから始まる大学生活についての注意点などについて説明がありました。

その後、瀬尾教授によるBLS (Basic Life

Support) 講習会が行われました。初めて講習を受ける学生もいましたが、動画を使っただけの丁寧な説明をはじめにさせていただきましたので、理解しやすかったのではないかと思います。その後、マネキンを使って人工呼吸、心臓マッサージやAED(自動体外式除細動器)の使用を実際に行いました(写真6)。

BLS講習が終わると閉会式を行いました。無事に合宿が終了し、新入生は送迎バスに乗り帰途につきました。なお、2018年9月20日で今回会場となったメイワサンピアが閉館との発表があり、来年度は他の場所での新入生合宿研修となります。大学生活の最初の大きなイベントとして、新入生同士の結束が深まる機会ですので、今後も続けていって欲しいと思います。以上、簡単ですが今年度の新入生合宿研修の報告とさせていただきます。



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6